

図書館でできることQ&A!

Q.図書館を使うには?

A. 「利用カード」があれば、市内の全ての図書館で貸出ができます。
カード発行には生徒手帳・学生証等、住所が書かれている公的な証明書を
持ってきてください。

Q.何冊まで
借りられるの?

A. 本・雑誌は20冊 CD・DVDはあわせて5点 語学CDは3点まで
2週間借りられます。

Q.貸出以外に
できることは?

A. 貸出中の資料の予約や、図書館資料を使って調べものができます。
図書館の職員に気軽に相談して下さい。

パスワードで使えるサービス

超 便利!

★電子図書サービス

自分のスマホやパソコンで、図書館の電子図書を読めます!

★本の予約や、貸出の延長

インターネットで、図書館の本を予約したり、貸出中の本を
延長したりできます。

★読書ノート

図書館内にある「読書ノートシール印刷機」で、
今借りている本の書名・著者名等が記載された
シールを印刷できます。
図書館で配っている「読書ノート」に貼って、
自分だけの読書記録をつけてみませんか?

「初期パスワード」は、利用カードがあれば自宅のPCや
スマホからも発行できます。



7・8月の図書館カレンダー

7 月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

8 月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

X

中央図書館の休館日
(第3金曜日)

X

地域図書館・分室
文庫の休館日

～ 図書館の本などは、返却期限を守って大切に使いましょう～

借りている本やDVDなどの返却が15日以上遅くなると、それを返すまでは
以下のことができませんので、借りる時や返却前によく確認してください。

①貸出 ②予約 ③借りている本などの延長



中学生・高校生のみなさんへ



川口市立図書館から

ティーンズの本棚

2025



← 二次元コードを
読みとってね!



☆図書館からみなさんへ、おすすめの本を紹介します!

こちらで紹介している本は、市内の各図書館で夏休み中に展示・
貸出をおこないます。貸出されていても大丈夫! 「予約申し込み」
をすれば、市内の各図書館どこにでも届きます。ぜひ、お気に入りの
1冊を見つけてくださいね。

中央 図書館	前川 図書館	新郷 図書館	横曽根 図書館	戸塚 図書館	鳩ヶ谷 図書館	芝園 分室
☎048 (227)7611	☎048 (268)1616	☎048 (283)1265	☎048 (256)1005	☎048 (297)3098	☎048 (285)3110	☎048 (269)2241

★休館日 や 開館時間は、それぞれの 図書館にお問合せください。

図書館の ホームページ にも のっています。
<https://www.kawaguchi-lib.jp/>

※ 芝北文庫、南鳩ヶ谷文庫、移動図書館 の お問合せは、中央図書館へ



中学生・高校生みなさんに読んでほしい本を紹介しています。
川口市立中央図書館と地域図書館で展示をしています。

ここで紹介した著者の作品には、他にもおもしろいものがたくさんあります。
おめあての本が借りられているときは、予約をするか、他の作品を読んでみて!!

シリーズマークは、続きやシリーズがある小説です。



『月の影 影の海
(上・下)』 シリーズ
(十二国記シリーズ)
小野不由美／著 新潮文庫

天帝によってつくられた十二の国から成る世界の物語。普通の高校に通う陽子が、この異界へと導かれた理由とは？ 壮大な物語の入門編とも言える作品。



『もえぎ草子』
久保田 香里／作 くもん出版
舞台は、紫式部や清少納言が活躍した平安時代の京都。十二歳の少女萌黄は、ひとり宮中で下働きをすることになった。まじめな働きぶりに、周りからも評価されたが、ある日身に覚えのない盗みの疑いをかけられて...
当時は貴重な紙をめぐる物語。貴族の華やかな生活の中を、萌黄は懸命に生き抜いていく。



『時の旅人』
アリソン・アドリー／作 松野正子／訳 岩波少年文庫
ベネロビーが行くことになった田舎の古い屋敷には、かつてバビントン一族という高貴な人々が住んでいた。ベネロビーはいつのまにか16世紀に迷い込み、バビントン一族と共に王位継承権をめぐる事件にまきこまれていく。



『わたしは大統領の奴隷だった』
エリカ・アームストロング・ダンバー／著 キャサリン・ヴァン・グリーブ／著 渋谷弘子／訳 汐文社
オーナは、生まれた時からアメリカ初代大統領ジョージ・ワシントン夫妻の奴隷だった。夫妻に仕えていたある日、オーナは「結婚祝い」として自分が譲渡されようとしているのを知り、ひそかに逃亡を企てる。
逃げ出したオーナの人生を通して、アメリカの人種差別問題の根深さを垣間見ることが出来る一冊。



『境界のボラリス』
中島空／著 講談社
中国で生まれ、日本に来た高校生の恵子。母親とは中国語で話すが、学校では中国人であることを感じていた。生きづらさを感じていた恵子は、あるきっかけから外国から来た子ども達に日本語を教えることになる。
外国人が多い川口市が舞台の作品。異国の社会に溶け込む難しさを抱えながらも、前向きに生きる主人公に勇気づけられます。



『変化球男子』
M.G.ヘネシー／作 杉田七重／訳 鈴木出版
ロスの学校に転校したシェーンは野球チームの主力ピッチャー。ある日、全校生徒にシェーンの転校前の姿の写真がばらまかれてしまう。実は、シェーンは、心は男子、身体は女子として生まれていた。男子として充実した生活を送っていた中、ばらまかれた写真にうつるのは、女子としてのシェーンの姿。この日からシェーンは苦しんでいく。
LGBTについて考えさせられる一冊。



『14歳のためのシェイクスピア』
木村龍之介／著 大和書房
シェイクスピアはなぜ現代でもなお偉大であるのか...まるで学校の授業のような構成で、シェイクスピアの面白さを説明してくれる1冊。
③Playの時間では、ぜひ声に出してセリフを読んでみて！
気がついた時にはどっぷりシェイクスピアにはまっているはず！

『あと少し、もう少し』
瀬尾まいこ／著 新潮社
陸上部部長としてチームを引っ張ってきた榊井。中3になり陸上経験ゼロの美術教師が顧問に変わり、中学生最後の駅伝は人数が足りず、助っ人メンバーを集めることから始める。
なんとか迎えたレース当日の朝、榊井は突然アンカーを走ることに。襦がつながるごとに重なっていく仲間の想い。ゴールまであと少し、もう少し。



『ルーミーとオリーブの特別な10か月』
ジョン・パウアー／著 杉田七重／訳 小学館
幼い頃に母を亡くし、12歳にして父までも失ってしまったオリーブは、突然現れた異母姉と暮らすことに。そんな時、パピウォーカーとして、盲導犬候補の子犬のルーミーを引き取る。
ルーミーとの10ヶ月の日々を通して、オリーブも成長していく。



『メイドイン十四歳』
石川宏千花／著 講談社
藍堂は優等生で、クラスでは一目置かれていた。ある日担任から、転入生のお世話係を任された。しかし彼は顔や手首など制服以外の部分を、包帯でぐるぐる巻きにしていた。彼と関わるうちに、藍堂もクラスの中で孤立していく。学校を舞台にした不思議だけれども、リアルな青春小説。



『雲を紡ぐ』
伊吹有喜／著 文藝春秋
高校で不登校になり、家にももろがちな美緒。ある日母親と、祖父母がくれたお気に入りのショールをめくり喧嘩をした。それから美緒は家を出て、岩手の祖父の工房に逃げ込んだ。祖父の仕事をしているうちに、美緒は織物に興味を持ち、祖父から仕事を教わることになる。岩手の伝統工芸をテーマにした親子3代の物語。



『円周率の謎を追う』
鳴海風／著 伊野孝行／画 くもん出版
円周率3.14が、まだ使われていなかった江戸時代。西洋では、現代の横書きの数字で表していたが、日本では縦書きの漢文で数学を表していた。その算術を世界レベルまで押し上げた「開孝和」の話。
彼の算術を楽しむ姿や、それを支える周りの人たちのつながりもあり、読みやすいです。



『聖の青春』
大崎善生／著 講談社文庫
幼くして重病を患った少年が、将棋と出会い、そこに自らが生きる意味を見出していく。天才棋士・村山聖(むらやま せい)の生涯を丁寧に綴った一冊。



『ぼくが宇宙人をさがす理由』
鳴沢真也／著 旬報社
宇宙人なんて、映画やゲームの中のもの、なんて思いませんか？実は、多くの天文学者たちは、「宇宙人は存在する」と考えているのです。2010年、日本人の天文学者をリーダーに、世界で同時に宇宙人を探索実験が行われました。宇宙人に出会うのは、もう夢ではないのかも！



『彼の名はウォルター』
エミリー・ロッド／著 さくまゆみこ／訳 あすなろ書房
遠足中にバスが故障し、不思議な空き家で助けを待つことになったコリンたち。細工が施された引き出しから見つけた1冊の本、『彼の名はウォルター』。彼らはその本を読み始めるが、読み進めるほどに次々と起こる不思議な出来事。そしてコリンたちは、あることに気づく...
思いがけない結末に目が離せない！



『七月の波をつかまえて』
ポール・モーシャール／作 代田亜香子／訳 岩波書店
パパが家を出て行ってから何にたいしても恐怖心を抱くようになっていたジュエは、夏の間1か月間、サンタモニカのオーシャンパークで過ごすことになった。海辺の町で出会ったのは太陽のように明るい笑顔のサーファーガールのサマー。
ジュエはサマーと過ごすうちに世界の見え方が変わり、いつしか一緒にサーフィンをするようになる。胸の内に秘めた不安や葛藤に向き合う2人の女の子の夏の物語。



『大人になるってどういうこと？』
神内聡／著 くもん出版
「大人」と「子ども」は、何が違うの？2022年4月から、成年・未成年を区別する年齢が18歳になったけれど...
契約やネットのトラブルを知るだけでなく、親や先生にも正解がわからない『答えのない問い』について、一緒に考えてみませんか？



『正しいパンツのたたみ方』
南野忠晴／著 岩波ジュニア新書
あなたは、家庭科が好きですか？家庭科は、生きていく力を育てる教科なんです！
パンツのたたみ方から、料理、人生設計、結婚観まで、家庭科教師が生徒たちにおくる、熱血家庭科授業。



『王への手紙(上・下)』 シリーズ
ドンケ・ドラフト／作 西村由美／訳 岩波少年文庫
騎士になるための最後の試練の夜、16歳の見習い騎士ティウリは、見知らぬ男から重要な手紙を託される。手紙を奪おうとするスパイや敵が待ち受ける中、ティウリは無事に手紙を隣国へ届けることができるのか？
読み始めたら止まらない、冒険の旅！



『アフリカにうり旅』
青山潤／著 講談社
地球上にいるすべてのウナギを集める一東大の海洋研究所「ウナギグループ」は、最後に残った「ラビアータ」というウナギを求め、アフリカへと飛んだ。
ウナギに魅せられた研究者たちが灼熱のアフリカで奮闘する珍道中。



『深夜特急1〜6』
沢木耕太郎／著 新潮文庫
26歳の「私」は、なぜかしの金をかき集め、乗合バスに乗って、インドのデリーからイギリスのロンドンまで旅をすることにした。
ユーラシア大陸を放浪しながら「私」が見たものとは？
長年愛される紀行文の傑作。



『となりのハト』
柴田佳秀／著 山と溪谷社
埼玉県鳥の島といえば、「シラコバト」。国の天然記念物であり、マスコットキャラクターにもなっています。でも実は「外来種」だって知っていましたか？街中で目にする機会の多いハトたち。この本とともに、時にはハトをじっくり観察してみてもいいかも。



『やっぱりおおかみ』
ささきまき／さく・え 福音館書店
たった1匹だけ生き残っていた、子どものおおかみ。「ナ」という、セリフをつぶやきながら仲間を探して町をさまよう。果たして、仲間を見つけることはできるのか？それとも...
「絵本って面白い！」と改めて思わせてくれる1冊かも！



『青ノ果テ』
伊与原新／著 新潮社
『銀河鉄道の夜』をはじめ、多くの作品を創った宮沢賢治。彼の故郷、岩手県花巻市で高校生活を送る七夏、壮太、深澤。ある日、七夏は『銀河鉄道の夜』にまつわる謎の言葉を知り姿を消した。七夏の幼馴染である壮太は、東京から転校してきた深澤が七夏失踪の原因を握っているのではないかと疑う。深澤が転校してきた理由とは一体...。心のなかに何かを抱えながら、壮太と深澤の「イーハトーブ」を探す旅が始まる。

